

一分ノ公廩ナリ、又延喜ノ主稅式ナル、志摩國ノ史生ノ公廩料ノ穀、七十五石ナルニ依リ考フレバ、七十五石ノ穀ハ稻七百五十束ニシテ、春キテ米トスレバ三十七石五斗ナリ、更ニ志摩國ノ祿物ノ價法ニ依レバ、七百五十束ノ價ハ、絹十二匹半、絲七十五絢、綿百二十五屯、調布二十五端、庸布三十七段、鍬二百五十口、鐵百七挺ナリ、是レ志摩國一分ノ公廩料ナリ、地ニ肥瘠アリ、國ニ遠近アリ、歲ニ豐斂アリ、世ニ前後アリ、物ニ多少アリ、價ニ貴賤アリテ、一律ヲ以テ推スコト能ハズト雖モ、亦以テ其梗概ヲ知ルベシ、サテ此公廩ノ分法ニ依リテ史生ヲ一分ト云ヒ、目ヲ二分ト云ヒ、掾ヲ三分ト云フナリ、又前任後任交替ノ時ニ公廩ヲ處分スル法ハ、孝謙天皇ノ天平寶字元年ニ始テ見エテ、其後屢沿革アリ、又内官ノ人ノ外官ヲ兼スルヲ以テ榮トスルハ、公廩ヲ得ルヲ以テナリ、猶ホ政治部貸借篇ヲ參照スベシ、對馬ノ島司ニハ公廩ヲ充テズシテ、代フルニ年糧ヲ以テセリ、猶ホ志摩國司ニ公廩料ヲ給スルガ如シ、其年糧ハ、筑前、筑後、肥前、肥後、豊前、豊後ノ六國ヨリ、毎年穀ヲ以テ漕送ス、但シ防人ノ糧モ此内ニテ給ズルナリ、

名稱

〔伊呂波字類抄久疊字〕公廩

〔令集解十二田略〕古記云、○中供公廩、所謂供給官人也、以充雜用、謂臨時雜用耳、問公廩正訓、未知何訓、答

供給官人之物、謂之公廩物也、此物所安置處、謂之公廩院宇也、假令借貸請官物、出舉取利、以本還官、以利更廻出舉、取利以借給當司官人等、此爲公廩物、本此官物、故厩庫律之同官物之例、

〔倭訓彙中編六久〕くかい 公界の音也、又公廩と書り、職田は全く私用とし、公廩は官府の雜用とするをもて、押出したるをいふ詞になれりといへり、一説に公廩今畠年貢といふ、國司以下諸役人公廩の内をもて、役料に配當す、

〔文獻通考六十五職官〕祿秩○中